



## 自分への問いかけ

先日、入学式に参加された来賓の方がこんな話をされました。

「まごころ五か条」の「こども」を「大人」に置きかえて聞いてみると、胸に刺さりますね。自分はきちんとできているのかなと反省させられます。

本校の校訓は「まごころをつくすこども」であり、その具体化として次の「まごころ五か条」があります。

これが本校教育の中核です。そのため、入学式や卒業式など様々な式において全児童で唱和します。

先の来賓の方は、入学式の折に、子どもたちの唱和を聞きながら、我が身を振り返られたのです。

例えば、「よく学びよく遊ぶこども」。よく生涯学習といわれますが、興味をもって何かを調べたり、本を読ん

だり、研修に参加したりしているか、また、仕事だけでなく運動に親しんだり、趣味を楽しんだりしているか、など振り返ってみると自信がありません。

さらに、「国とみんなにつくすこども」。自分のことだけでなく周りのことを考えて行動しているか、自分にできることを見つけ実行しているか、など考えてみると反省することばかりです。

親として教師として私たち大人は、日々、子どもたちに指導します。「こうした方がいい」「こうすべきだ」と教えます。その一方で、同じ内容を自分に問いかけているでしょうか。一人の大人として、社会人として、それぞれの立場の中で自分はできているのか、そうあろうと努力しているのか。

もちろん、難しいこと、できないことはたくさんあります。しかし、子どもへの指導を自らへの問いかけとすることで、子どもへの言葉かけが変わるかもしれません。自分自身も少し成長できるかもしれません。私たち大人のそのように姿に子どもも感化されるのではないのでしょうか。

来賓の方の話をきっかけに、我が身を振り返り、多くのことを考えさせられました。

一	一	一	一	一	まごころ五か条
国とみんなにつくすこども	きまりよく実行するこども	仕事に打ち込み やりぬくこども	よく学びよく遊ぶこども	命を大切にすることこども	